



## 2024年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月11日

上場会社名 プライム・ストラテジー株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5250 URL <https://www.prime-strategy.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 渡部 直樹  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 城塚 紘行 TEL 03 (6551) 2995  
四半期報告書提出予定日 2024年7月11日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年11月期第2四半期の連結業績（2023年12月1日～2024年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第2四半期	417	△5.2	97	△38.9	97	△29.2	69	△27.1
2023年11月期第2四半期	440	—	159	—	138	—	96	—

(注) 包括利益 2024年11月期第2四半期 72百万円 (△24.8%) 2023年11月期第2四半期 96百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第2四半期	20.09	19.12
2023年11月期第2四半期	30.37	28.31

(注) 1. 2022年11月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年11月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 2023年11月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2023年2月22日に東京証券取引所スタンダード市場へ上場したため、新規上場日から2023年11月期第2四半期連結会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第2四半期	1,542	1,312	85.1
2023年11月期	1,502	1,298	86.5

(参考) 自己資本 2024年11月期第2四半期 1,312百万円 2023年11月期 1,298百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2024年11月期	—	0.00	—	—	—
2024年11月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年11月期の連結業績予想（2023年12月1日～2024年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	844	△3.7	170	△40.6	170	△36.0	119	△35.7	34.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年11月期2Q	3,486,400株	2023年11月期	3,459,000株
② 期末自己株式数	2024年11月期2Q	31株	2023年11月期	31株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年11月期2Q	3,482,780株	2023年11月期2Q	3,160,713株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

2024年6月10日発表の2024年1～3月期の実質GDP成長率は、前期比-0.5%となりました。2四半期ぶりのマイナス成長であり、内需が4四半期連続でマイナスとなるなど内容も弱く、昨年度中は景気が足踏み状態にあったことを改めて示す結果となりました。

一方で当社を取り巻く国内ITサービス市場においては、経済産業省の推進するデジタルトランスフォーメーション（DX）に関連するシステム投資が継続してその存在感を強めております。政府は22年に経済安全保障推進法に基づきクラウドを「特定重要物資」の対象に加えました。有事が発生しても供給網が途絶えない体制づくりを目指し、関連する国内企業に対して補助金などの支援策を用意し、具体的措置として経済産業省からさくらインターネットに対し6億円の補助が行われました。継続してデジタルトランスフォーメーション（DX）のトレンドが進展する中、生産性の向上や業務の効率化を目的として、クラウドサービスを優先的に採用する「クラウドファースト戦略」を実行する企業が増加しており、2022年の国内クラウドサービス市場規模は、前年比37.8%増の5兆8,142億円となりました。2022年～2027年の年間平均成長率（CAGR：Compound Annual Growth Rate）は17.9%で推移し、2027年の市場規模は2022年比約2.3倍の13兆2,571億円になると予測されております。（出所：IDC Japan株式会社「国内クラウド市場用途別売上額予測、2022年～2027年」）

このような経営環境のもと、当社は、超高速CMS実行環境「KUSANAGI」をはじめとしたサーバ高速化ソリューション「KUSANAGI Stack」でKUSANAGI Stack事業を展開し、一気通貫でWebサイトの保守・運用を行うKUSANAGI マネージドサービスの拡大を図ってまいりました。しかし、昨期から取り組んでいる営業力強化のための施策が思うような結果が生み出せておらず、新規受注の獲得のペースの遅れや、大型の解約があったことにより、第2四半期では前年同期と比べて減収減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高417,764千円（前年同期比5.2%減）、営業利益97,215千円（前年同期比38.9%減）、経常利益97,783千円（前年同期比29.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益69,967千円（前年同期比27.1%減）となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは、KUSANAGI Stack事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,477,118千円となり、前連結会計年度末に比べ33,295千円増加いたしました。これは主に、新規借入や新株発行等により現金及び預金が27,108千円増加したことによるものであります。固定資産は65,383千円となり、前連結会計年度末に比べ7,041千円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が4,058千円、投資その他の資産が3,380千円増加したことによるものであります。この結果、総資産は1,542,502千円となり、前連結会計年度末に比べ40,336千円増加いたしました。

##### （負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は159,893千円となり、前連結会計年度末に比べ10,968千円増加いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が6,968千円、契約負債が6,781千円増加したことによるものであります。固定負債は70,585千円となり、前連結会計年度末に比べ16,306千円増加いたしました。これは長期借入金が16,306千円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は230,478千円となり、前連結会計年度末に比べ27,274千円増加いたしました。

##### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,312,023千円となり、前連結会計年度末に比べ13,061千円増加いたしました。これは主に、新株発行により資本金が4,863千円、資本剰余金が4,863千円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は85.1%（前連結会計年度末は86.5%）となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より27,108千円増加して1,353,133千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は65,588千円（前年同四半期は77,871千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益97,783千円によるものです。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は4,923千円（前年同四半期は19,417千円の使用）となりました。これは主

に、有形固定資産取得による支出5,110千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は35,861千円(前年同四半期は730,677千円の獲得)となりました。これは主に、配当金の支払額68,862千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月期の業績予想につきましては、直近の業績動向を踏まえ、修正いたしました。詳細につきましては、2024年6月13日公表の「通期業績予想の修正及び中期経営計画の取り下げに関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,326,025	1,353,133
売掛金	86,736	81,201
仕掛品	486	2,617
前払費用	27,529	33,727
未収入金	499	3,096
その他	2,546	3,341
流動資産合計	1,443,823	1,477,118
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,811	2,882
減価償却累計額	△845	△117
建物及び構築物(純額)	966	2,765
工具、器具及び備品	7,360	6,826
減価償却累計額	△6,706	△3,912
工具、器具及び備品(純額)	653	2,913
有形固定資産合計	1,620	5,679
無形固定資産		
ソフトウェア	12,564	9,681
その他	16,097	18,582
無形固定資産合計	28,661	28,263
投資その他の資産		
長期前払費用	6,069	12,152
繰延税金資産	1,478	1,518
その他	20,512	17,770
投資その他の資産合計	28,060	31,440
固定資産合計	58,342	65,383
資産合計	1,502,165	1,542,502

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	19,870	20,320
1年内返済予定の長期借入金	28,840	35,808
未払費用	27,659	27,948
未払法人税等	35,302	33,614
契約負債	19,862	26,643
その他	17,390	15,559
流動負債合計	148,924	159,893
固定負債		
長期借入金	54,279	70,585
固定負債合計	54,279	70,585
負債合計	203,203	230,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	429,394	434,258
資本剰余金	389,529	394,392
利益剰余金	474,181	474,969
自己株式	△96	△96
株主資本合計	1,293,008	1,303,523
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	5,953	8,499
その他の包括利益累計額合計	5,953	8,499
純資産合計	1,298,961	1,312,023
負債純資産合計	1,502,165	1,542,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
売上高	440,485	417,764
売上原価	140,007	160,353
売上総利益	300,477	257,410
販売費及び一般管理費	141,331	160,195
営業利益	159,145	97,215
営業外収益		
受取利息	2	6
受取奨励金	—	1,450
為替差益	23	—
営業外収益合計	25	1,456
営業外費用		
支払利息	641	465
上場関連費用	20,342	—
為替差損	—	255
その他	135	165
営業外費用合計	21,119	887
経常利益	138,051	97,783
特別損失		
固定資産除却損	51	—
特別損失合計	51	—
税金等調整前四半期純利益	137,999	97,783
法人税等	41,999	27,816
四半期純利益	96,000	69,967
親会社株主に帰属する四半期純利益	96,000	69,967



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	96,000	69,967
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	421	2,545
その他の包括利益合計	421	2,545
四半期包括利益	96,421	72,513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,421	72,513

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	137,999	97,783
減価償却費	4,314	3,874
固定資産除却損	51	—
受取利息及び受取配当金	△2	△6
支払利息	641	465
上場関連費用	20,342	—
売上債権の増減額 (△は増加)	2,908	5,886
棚卸資産の増減額 (△は増加)	289	△2,130
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,556	446
前払費用の増減額 (△は増加)	△3,602	△6,132
長期前払費用の増減額 (△は増加)	6,932	△6,083
未収入金の増減額 (△は増加)	1,047	△2,428
未払費用の増減額 (△は減少)	△3,270	△102
その他	△4,608	9,777
小計	158,487	101,351
利息及び配当金の受取額	2	6
利息の支払額	△641	△465
法人税等の支払額	△79,976	△35,303
営業活動によるキャッシュ・フロー	77,871	65,588
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	—	△5,110
無形固定資産の取得による支出	△1,792	△2,502
敷金の差入による支出	△17,625	—
敷金の回収による収入	—	2,689
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,417	△4,923
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	50,000
長期借入金の返済による支出	△27,672	△26,726
上場関連費用の支出	△20,342	—
株式の発行による収入	778,789	9,727
自己株式の取得による支出	△96	—
配当金の支払額	—	△68,862
財務活動によるキャッシュ・フロー	730,677	△35,861
現金及び現金同等物に係る換算差額	379	2,304
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	789,512	27,108
現金及び現金同等物の期首残高	558,684	1,326,025
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,348,196	1,353,133

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年12月1日 至 2023年5月31日）

当社グループは、「KUSANAGI Stack事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年12月1日 至 2024年5月31日）

当社グループは、「KUSANAGI Stack事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。